

別記様式第1号（第5条関係）

当尾地域の観光資源を活用した地域力活性化検討委員会 開催結果の要旨

会議名	第7回 当尾地域の観光資源を活用した地域力活性化検討委員会				
日時	平成28年2月18日（木） 午後1時30分～3時	場所	当尾公民館		
出席者	委員	■多田 実（会長）、■石井 好二郎（副会長） ■前田 義之、■吉田 修史、□植村 海宥、■山本 憲市、 ■倉山 美幸、■畠 浩靖、■西村 正子、■浦辺 長次（代理出席：浦本 幹男）、■福岡 正司、□住山 貢 ※□：欠席者			
	その他出席者				
	事務局	武田次長、辻課長、西村係長			
議題	1. 開会 2. 議事 (1) 協議事項 ・パブリックコメントに対する市の考え方について（資料1・2） ・提言書の提出について（資料3） 3. その他 4. 閉会				
審議結果要旨	1. 開会 事務局より、開会を宣言した。 2. 議事 (1) 協議事項 ・パブリックコメントに対する市の考え方について（資料1・2） 事務局より、資料1・2を基にパブリックコメントに対する考え方について説明し意見交換を行い、一部文言修正等を行ったうえで、最終案としてとりまとめた。 ・提言書の提出について（資料3） 3月中に市長への答申の場を設けていくこととし、事務局より後日、通知することとした。 3. その他 4. 閉会				
審議経過要旨	1. 開会 審議結果要旨のとおり。 2. 議事 (1) 協議事項				

・パブリックコメントに対する市の考え方について（資料1・2）
審議結果要旨のとおり。

主な意見・質疑等は次のとおり。

（○…質疑・意見、→…質疑に対する返答）

○資料2 12ページの文言修正（案）について、議論の経過を知っている者は違和感がないが、他の箇所で里山景観維持についても触れており、この地域全体の景観にかかる書き方がいいのでは。

→修正していく。

○耕作放棄地等に含まれると思うが、放置竹林の拡大が著しく言葉として表に出した方が良くないか。

→等の中に含めている。

○コースづくりという表現について、今の道を指しているのか、新たに道をつくっていくことを思っているのか。

→これまでの議論の中でも道が失われつつあるといった意見も出た。新たに整備というような事は思っていない、失われつつある道が、フットパスのような取組により復活させたり、継続維持につながればという想いである。

○資料2 12ページ具体的な取組について、羅列するだけでなく、P11の項目と関連づけて見せるためにも大項目を設けてはどうか。

→この形にまとめる際、テーマ毎での分類も検討したが、テーマが被つくる項目も多く、現在の案となっている。

○当初、ウォーキングの聖地というのがキーワードであったが、現在の計画での位置付けはどうなっているのか。

→検討経過の中で地域力という部分がクローズアップしてきている。ただ、ウォーキング等を活用したという部分は当初から全くコンセプトとして変わっていない。

○ウォーキング・ハイキングといった用語の使い分けについて整理をした方がいいのか。

→目的・背景により表現は異なるので限定することは必要ないのでは。

ウォーキングについては、地元が方が楽しむことがポイントとなる。現在ウォーキング協会での取組においても、歩くことについて目標を持たれる。その目標を認定という形で生きがいとなる後押しをしている。ウォーキングは多様である。日常生活に取り入れることは重要である。

○ガイドを始めてから、いろんなコースをお知らせしているが、そのコースを維持できるかが不安であった。

	<p>○資料2 12ページ具体的取組について、人を呼び込むことが地域力の活性化につながるので、内向け・外向けで大別すれば分かりやすくなるのでは。</p> <p>○資料2 12ページ具体的取組について、ウォーキングについて具体的な記載がないように見えるので、一部文言を追加してはどうか。 →12ページの具体的取組については、少しテーマ毎に見やすくなるよう修正する。</p> <p>○今年度で計画はできるが、次年度以降どういう展開をしていくのか。 →これまでの議論や、過去の地域での取組現状を踏まえ、地域をコーディネートできるような人材探しをしていきたいと考えている。</p> <p>○春以降、当尾の郷会館として利用できるようになるので、地元としては、会館を活用して継続した取組となるよう頑張っていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提言書の提出について（資料3） <p>審議結果要旨のとおり。</p> <p>主な意見・質疑等は次のとおり。</p> <p>(○…質疑・意見、→…質疑に対する返答)</p> <p>○委員会は3月末で任期となるが、学生のお手伝いも可能である。</p> <p>○新日本 歩く道紀行100選シリーズ 歩いておきたい1,000の道においてもツーリズムウォーキングを進めていくので、活用していただくのもひとつである。</p> <p>○4月以降、計画の内容についてひとつでも実現を目指してほしい。</p> <p>3. その他 審議結果要旨のとおり。</p> <p>4. 閉会</p>
その他特記事項	傍聴者なし